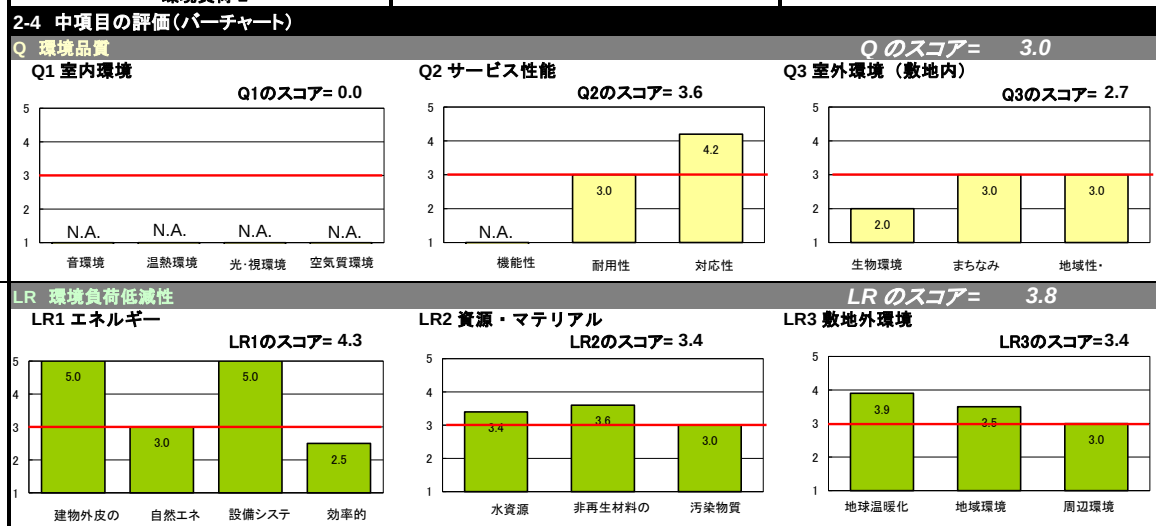
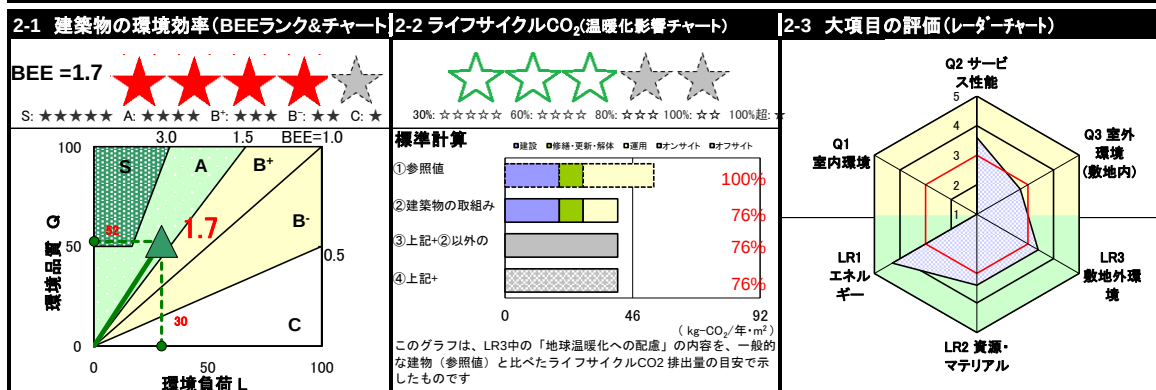


CASBEE® あいち

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	プロロジスパーク東海1プロジェクト	階数	地下0階地上4階
建設地	東海太田川駅西土地地区画整理事業1街区 (愛知県東海市大田町川南新田24他105筆)	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	764 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2027年5月 予定	評価の実施日	2025年2月7日
敷地面積	72,804.17 m ²	作成者	江口 保志
建築面積	41,561.94 m ²	確認日	2025年3月3日
延床面積	160,727.88 m ²	確認者	江口 保志



3 重点項目		
①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)
3.9	2.0	17.2 %
②資源の有効活用	④地域材の活用	建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)
3.5	1.0	0.0 %
		〈外装材に使用した地域性のある材料〉
		なし
		〈建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材〉
		なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮

LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用

Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性

LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化

Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}}$ × 100建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}}$ × 100

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
プロロジスパーク東海Iプロジェクト

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		実施設計段階										
		独自基準				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分				
配慮項目		重点項目	環境配慮設計の概要記入欄			評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質												3.0
Q1 室内環境												
1 音環境						-	-	-	-	-	-	-
1.1 室内騒音レベル						3.0	-	-	-	-	-	-
1.2 遮音						-	-	-	-	-	-	-
1 開口部遮音性能						-	-	-	-	-	-	-
2 界壁遮音性能						-	-	-	-	-	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	-	-	-	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	-	-	-	-	-
1.3 吸音						-	-	-	-	-	-	-
2 温熱環境						-	-	-	-	-	-	-
2.1 室温制御						-	-	-	-	-	-	-
1 室温						3.0	-	-	-	-	-	-
2 外皮性能						3.0	-	-	-	-	-	-
3 ゾーン別制御性						3.0	-	-	-	-	-	-
2.2 湿度制御						3.0	-	-	-	-	-	-
2.3 空調方式						3.0	-	-	-	-	-	-
3 光・視環境						-	-	-	-	-	-	-
3.1 昼光利用						-	-	-	-	-	-	-
1 昼光率						3.0	-	-	-	-	-	-
2 方位別開口						3.0	-	-	-	-	-	-
3 昼光利用設備						3.0	-	-	-	-	-	-
3.2 グレア対策						-	-	-	-	-	-	-
1 昼光制御						5.0	-	-	-	-	-	-
3.3 照度						3.0	-	-	-	-	-	-
3.4 照明制御						3.0	-	-	-	-	-	-
4 空気質環境						-	-	-	-	-	-	-
4.1 発生源対策						-	-	-	-	-	-	-
1 化学汚染物質						3.0	-	-	-	-	-	-
4.2 換気						-	-	-	-	-	-	-
1 換気量						3.0	-	-	-	-	-	-
2 自然換気性能						3.0	-	-	-	-	-	-
3 取り入れ外気への配慮						3.0	-	-	-	-	-	-
4.3 運用管理						-	-	-	-	-	-	-
1 CO ₂ の監視						3.0	-	-	-	-	-	-
2 喫煙の制御						3.0	-	-	-	-	-	-
Q2 サービス性能							-	0.43	-	-	-	3.6
1 機能性						-	-	-	-	-	-	-
1.1 機能性・使いやすさ						-	-	-	-	-	-	-
1 広さ・収納性						3.0	-	-	-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応						3.0	-	-	-	-	-	-
3 バリアフリー計画		独自				3.0	-	-	-	-	-	-
1.2 心理性・快適性						-	-	-	-	-	-	-
1 広さ感・景観 (天井高)						3.0	-	-	-	-	-	-
2 リフレッシュスペース						3.0	-	-	-	-	-	-
3 内装計画						3.0	-	-	-	-	-	-
1.3 維持管理						-	-	-	-	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計						3.0	-	-	-	-	-	-
2 維持管理用機能の確保						-	-	-	-	-	-	-
2 耐用性・信頼性						0.5	3.0	0.52	-	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振						0.4	3.0	0.48	-	-	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	3.0	0.80	-	-	-	-
2 免震・制震・制振性能						3.0	3.0	0.20	-	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数						0.3	3.3	0.33	-	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数						-	3.0	0.23	-	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		②				-	3.0	0.23	-	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						-	3.0	0.09	-	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						-	3.0	0.08	-	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						-	5.0	0.15	-	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔						-	3.0	0.23	-	-	-	-
2.4 信頼性						0.1	2.8	0.19	-	-	-	-
1 空調・換気設備						3.0	3.0	0.20	-	-	-	-
2 給排水・衛生設備						3.0	2.0	0.20	-	-	-	-
3 電気設備		②				3.0	3.0	0.20	-	-	-	-
4 機械・配管支持方法						3.0	3.0	0.20	-	-	-	-
5 通信・情報設備						3.0	3.0	0.20	-	-	-	-

給水:B、汚水・雑排水:B、消火:C

3 対応性・更新性				0.4	4.2	0.48				4.2
3.1 空間のゆとり			②		0.3	5.0	0.31			
1	階高のゆとり				5.0	0.60				
2	空間の形状・自由さ				5.0	0.40				
3.2 荷重のゆとり					3.0	5.0	0.31			
3.3 設備の更新性					0.3	3.0	0.38			
1	空調配管の更新性				3.0	0.17				
2	給排水管の更新性				3.0	0.17				
3	電気配線の更新性				3.0	0.11				
4	通信配線の更新性				3.0	0.11				
5	設備機器の更新性				3.0	0.22				
6	バックアップスペースの確保			3.0	3.0	0.22				
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.57			2.7
1 生物環境の保全と創出			独自③			2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮			独自④			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					0.3	3.0	0.30			3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			独自④			3.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上						3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性										3.8
LR1 エネルギー						-	0.40			4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制				BPIm=0.66	3.0	5.0	0.20			5.0
2 自然エネルギー利用					3.0	3.0	0.10			3.0
3 設備システムの高効率化				BEIm=0.49	3.0	5.0	0.50			5.0
4 効率的運用					0.2	2.5	0.20			2.5
集合住宅以外の評価					1.0	2.5	1.00			
4.1	モニタリング				3.0	3.0	0.50			
4.2	運用管理体制				3.0	2.0	0.50			
集合住宅の評価					-	-	-			
4.1	モニタリング				-	-	-			
4.2	運用管理体制				-	-	-			
LR2 資源・マテリアル						-	0.30			3.4
1 水資源保護					0.1	3.4	0.15			3.4
1.1 節水				自動水栓、省水型機器	3.0	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					0.6	3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.67			
2	雑排水等利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減					0.6	3.6	0.63			3.6
2.1 材料使用量の削減			② 独自			3.0	0.07			
2.2 既存建築躯体等の継続使用						3.0	0.25			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用						3.0	0.21			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用					ビニル床タイル、天井板、タイルカーペット	3.0	5.0	0.21		
2.5 持続可能な森林から産出された木材						3.0	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				独自	外装材+LGS+内装材	3.0	4.0	0.25		
3 汚染物質含有材料の使用回避					0.2	3.0	0.22			3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	3.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避					0.6	3.0	0.68			
1	消火剤				-	-	-			
2	発泡剤(断熱材等)				-	3.0	0.50			
3	冷媒				3.0	3.0	0.50			
LR3 敷地外環境						-	0.30			3.4
1 地球温暖化への配慮			①	ライフサイクルCO2排出率76%	-	3.9	0.33			3.9
2 地域環境への配慮					0.3	3.5	0.33			3.5
2.1 大気汚染防止				燃焼機器の使用なし	-	5.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善					-	3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制					0.2	3.2	0.25			
1	雨水排水負荷低減	独自				3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制				-	3.0	0.25			
3	交通負荷抑制	独自		駐輪(車)場・トラック待機所の確保、駐車場の導入路の配慮	-	5.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制				-	2.0	0.25			
3 周辺環境への配慮					0.3	3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					0.4	3.0	0.40			
1	騒音	独自				3.0	1.00			
2	振動	独自				-	-			
3	悪臭					-	-			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					0.4	3.0	0.40			
1	風害の抑制				-	3.0	0.70			
2	砂塵の抑制				-	-	-			
3	日照障害の抑制				-	3.0	0.30			
3.3 光害の抑制					0.2	3.0	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				-	3.0	0.70			
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				-	3.0	0.30			

重点項目スコアシート
プロロジスパーク東海1プロジェクト

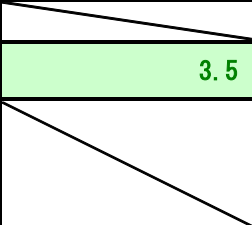
実施設計段階

■ 使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新編)2016年版+あいも版手引き

■ 評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア	
① 地球温暖化対策				3.9	
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.9	0.10		
② 資源の有効活用					3.5
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.22		
Q2-3	対応性・更新性	4.2	0.21		
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.6	0.19		
③ 敷地内の緑化				2.0	
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.17	外構緑化：17.2%/建物緑化：0%	
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0	
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし	
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし	

■ 重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 $\frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{重みの総和}}$

重点項目スコア=

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 プロロジスパーク東海1プロジェクト

計画上の配慮事項	
総合	地球温暖化防止に努めた計画としている。
Q1 室内環境	評価対象外。
Q2 サービス性能	空間のゆとりに配慮することにより、将来への対応性・更新性を高めている。
Q3 室外環境(敷地内)	特になし。
LR1 エネルギー	一次エネルギー消費量を抑えることにより、カーボンニュートラルに貢献している。
LR2 資源・マテリアル	エコマーク認定商品を使用することにより、非再生性資源の使用量を削減している。
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO2排出率を抑制することにより、地球温暖化への配慮を行っている。
その他	特になし。